

地域の未来をみんなの手で！

「地域運営組織、はじめの一歩」



市内7つの地域運営組織が一堂に会し、各地区的活動を紹介しました(令和7年12月14日)

近年、市内の各地域では、「近所付き合いが減った」「高齢の人が増え、雪かきや防犯が心配」といった声が聞かれようになりました。人口減少や少子高齢化が進み、地域を取り巻く課題が多様化・複雑化する中、これまで当たり前だった地域の助け合いが、少しづつ難しくなってきています。

そんな今だからこそ、「自分たちのまちは、自分たちで良くしていこう」という前向きな気持ちが、これまで以上に大切です。住民同士が話し合い、知恵や力を出し合いまながら、地域の課題解決や暮らしの安心につなげていく新たな仕組みが「地域運営組織」です。

この特集では、市内各地域で活動する地域運営組織の具体的な取り組みや、その思いを紹介します。●問い合わせ：市民協働課（☎ 39-1221）



地域運営組織とは…

地域運営組織は、町内会や行政だけでは支えきれない、地域の暮らしや防災、福祉、環境、産業振興などの地域全体の課題を、住民が主体となり発見・解決し、地域全体で「補完」していくための新たな仕組みです。市内には、現在7つの組織が設立されています。

地域全体で**補完**していきます



会津若松市の地域運営組織の活動の流れ



NPO法人みんなとまちづくりネットワーク
各運営組織では、毎月定例会や打合せを行い、活動を計画しています



NPO法人大戸まちづくり協議会
各地域の地域おこし協力隊などと協力し、地域課題の解決に向けたイベントを開催しています



各地域の地域づくりの取り組みを体感できる「地域づくりフェス」での活動を紹介しています

行仁まちづくり協議会

～令和6年6月設立～

住みやすさナンバーワン！ 世代が変わり紡いでいくにぎわいあるまちづくり

行仁地区では、住民への現状調査を実施し、住民の要望を反映させる地域づくりを進めています。今年度は、地域おこし協力隊と共にホームページを開設し、地域のイベント情報や活動の様子などを発信を始めました。若い世代など、より多くの皆さんに行仁地区の様子を感じてもらえるきっかけになればと思っています。

また、歴史探訪ウォークや温泉バスツアーなどのイベントを実施しました。歴史探訪ウォークには

地域おこし協力隊
新田 敦生

出身が大阪の私は、まず歩いて行仁地区を知ることから始め、外からの視点で地域の魅力をまとめた小冊子「行仁の歩き方」を作成しました。住民の皆さんに、改めて地域の良さを知ってもらえたうれしいです。

今後は、地域の交流を増やし、住民同士の顔が見える場をつくっていきたいですね。



地域おこし協力隊
堀江 公平

昨年の11月に行仁地区の地域おこし協力隊に就任しました。

今後は、地域の魅力を生かすアイデアや防災関連のイベントなど積極的に提案ていきたいです。



歳の神を引き継いでいくため、地域の小学校へチラシを配布するなど、桧町町内会の活動に協力しました



温泉バスツアーでは、ふれあいの湯(北会津町下荒井)で入浴した後、参加者が和気あいあいと体操やゲームを行いました



行仁まちづくり協議会
会長 佐藤 康毅さん

行仁地区ってどんな地域？

行仁地区は、神社仏閣や3つの酒蔵があるほか、会津若松駅から近いため利便性が高く、歴史が息づく中でも、住みやすい地域です。

行仁地区では、住民への現状調査を実施し、住民の要望を反映させ

今後の展望は？

今後は、住民からの要望を実現できるよう活動を続けながら、地域おこし協力隊が提案する新しいアイデアを積極的に取り入れて、ハイブリットな活動を目指しています。

また、コロナで途絶えてしまつた地域住民同士の交流を復活させるために、若い世代を巻き込みながら、持続可能な地域づくりを進めています。

北地区地域づくり協議会

いな穂のように、
実り豊かに暮らせるまちづくり

北地区夏まつり

地域の中高生が運営に
参加し、高齢者の来場
も多く、世代を超えた
地域住民の交流が生まれています。



※北地区は、町北・高野地区で構成されています

高齢者福祉の取り組み

健康づくりイベントや
バスツアーや開催し、
高齢者の交流促進、健
康づくりを目的に取り
組みを行っています。



北地区フォトコンテスト

「なにげなく感動した
地域の風景」をテー
マにフォトコンテスト
を開催しました。



河東地域づくり委員会

人と人とのつながりが育む 心豊かに暮らせる河東

地域歴史ガイドマップ

河東地域内に点在する
歴史的な建物や跡地など
を紹介する地図を作成して
います。



地域イメージキャラクター

「皆鶴姫」「義経」をPR
するため、オリジナル
グッズの作成やものづ
くり体験などを行って
います。



「凍み餅」プロジェクト

会津大学短期大学部
成澤ゼミの学生と現代
版「凍み餅(皆鶴姫のお
やつ)」を開発し、販売
しました。



地域内交通「みなづる号」

予約に応じて各集落の
乗降場所と目的地(病
院やスーパーなど)間
を運行しています。



一緒に地域づくりに
取り組んでみませんか

「自分の住む地域をもっと良
くしたい」「子どもたちが安心し
て暮らせるまちにしたい」そん
な思いこそが、地域づくりの原
動力です。この記事で紹介した
取り組みは、特別な誰かだけが
行うものではありません。「自
分たちの地域でも何か始めてみ
たい」「何から手を付ければ良い
か分からない」。そう感じ
たときは、ぜひ市民協働課にご
相談ください。市では、地域づ
くりビジョン推進事業補助金を
はじめ、組織づくりから事業の
実施まで、寄り添いながら支援
します。

地域の未来は、一人ひとりの
小さな「やってみよう」から始ま
ります。一緒に、私たちのまち
をより良い場所にしていきま
しょう。



●問い合わせ：市民協働課（電話）
39-1221

一箕地区的歴史と文化を未来へつなぐ！

ICT活用と創造で世代を超えてつながる活気あるまちづくり

一箕地区は、飯盛山や数々の古墳などの史跡があるほか、会津大学や会津大学短期大学部などの教育機関が集約されている地域です。

一箕地区ってどんな地域？

一箕地区では、「自分たちのまちは自分たちで作る」というテーマのもと、地域のつながりを大切にし、ICTや学生の力を取り入れた地域づくりを行っています。

今年度は、地区の魅力を再発見できるフォトコンテストの実施や、一箕地区的文化創造祭において、eスポーツを体験できるブースを設置し、幅広い年代がコミュニケーションを図れるような活動を行いました。また、敬老事業として文化創造祭で80歳以上の人へ紅白まんじゅうを贈呈したほか、年末には一人暮らし

どんな地域づくりをしているの？



一箕地区
ひとみ創造ネットワーク
会長 宮城 卓二さん

の高齢者へおせちの食材をお届けしました。住民の皆さんに喜んでもらえた事業となつたのでうれしかったですね。

今後の展望は？

目標は、住民が「一箕に住んでいて良かった」「若松で一番良い場所だ」と思える地区にすることです。明るく、楽しく、元気よくをキャッチコピーに、活気あふれる地域づくりを目指しています。住民の皆さんにも地域のイベントに参加してもらい、一緒に地域盛り上げていきたいです。



一箕地区ひとみ創造ネットワークの
「ひとみ」って何？

「ひとみ」の由来は、源義家
が大塚山から土を一人一箕(ひとみ)
ずつ運ばせて山を築き、八幡神社を建立したこと
にあります。「箕」とは、農業用の農機具のことです。

ネットワークのロゴマーク
は、会津大学短期大学部の学
生がデザインしました。



地域おこし協力隊
西本 航大

事務局のサポートや住民
との橋渡し役として、自分
にできることは全て引き受
ける姿勢を大切にしています。

運営メンバーの高齢化が
進む中、自分と近い世代や
大学生など新しい層を巻き
込むことが重要だと感じて
います。今後は、多様な視
点を取り入れることで、これ
までにない取り組みにも
チャレンジしていきたいで
す。



明るく、楽しく、元気よく！
地域を盛り上げていくぞ！



1 敬老祝いの紅白まんじゅうを笑顔で受け取る様子 2 eスポーツを体験する地域の皆さん 3 地域の中学生を対象に、市内の企業を見学するバスツアーを実施しました